

■ 1 利用実態調査について（現在試行運行中の3ルート）

1. 目 的

現在、停留所ごとの乗車人数、降車人数、運賃別利用者数については乗務員がカウントしているが、性別、年齢層、実際の目的地、復路をどうしているかなどについてのデータを把握するため、調査員を乗車させ、さしつかえのない範囲で利用者に直接ヒアリングし利用目的等を探ることで、今後のサービスや周知・広報の内容の検討に資するデータを収集する。

2. 対 象

コミュニティワゴン青柳ルート、泉ルート、矢川・東ルート利用者

3. 調査内容

- (1) 年齢、性別、住所、自家用車有無
- (2) 日常的に使う交通手段の中でもっとも頻繁に使う手段
- (3) コミュニティワゴン利用実態
 - ・どのような目的での利用か（通勤、通院、買い物、保育園など）
 - ・どこに行くための利用か（施設名、住所）
 - ・どの区間での利用か（乗車停留所、降車停留所）
 - ・どの時間帯の利用か
 - ・日常的に繰り返し利用するか
 - ・どのような頻度で利用するか（毎日、週 2,3 回、週 1、月 2,3 回、月 1、それ以下）
- (4) 評 価
 - ・ルートについて
 - ・運行時間帯について
 - ・乗り継ぎ
 - ・運行本数／運行間隔
 - ・所要時間
 - ・運賃
 - ・車両
- (5) 生活の変化
 - ・外出の頻度
 - ・外出先の増加

3. 実施時期 平成 26 年 7 月に一週間程度

4. 結果分析 平成 26 年 8 月の地域公共交通会議で報告

■ 2 利用意向調査について（（仮称）谷保ルート）

1. 目的

試行運行が想定される沿線地域に居住している方の利用意向を探ることで、今後の試行運行に向けての検討に資するデータを収集する。

（★道路条件など整理し運行可能なルートを示したうえでの調査とする）

2. 対象 想定される（仮称）谷保ルート沿線にお住まいの方

3. 調査内容

- (1) 年齢、性別、住所、自家用車有無
- (2) 日常的に使う交通手段の中でもっとも頻繁に使う手段
- (3) コミュニティワゴン試行運行「くにっこミニ」認知度
 - ・くにっこミニを知っているか
- (4) 利用意向
 - ・利用するか
 - ・どのような目的で利用したいか（通勤、通院、買い物、保育園など）
 - ・どこに出るために利用したいか（施設名、住所）
 - ・どの区間で利用したいか（乗車停留所、降車停留所）
 - ・どの時間帯に利用したいか
 - ・日常的に繰り返し利用するか
 - ・どのような頻度で利用するか（毎日、週 2,3 回、週 1、月 2,3 回、月 1、それ以下）
- (5) 評価
 - ルートについて
 - ・運行時間帯について
 - ・乗り継ぎ
 - ・運行本数／運行間隔
 - ・所要時間
 - ・運賃
 - ・車両
- (6) どのような生活の変化が見込まれるか
 - ・外出の頻度
 - ・外出先の増加
- (7) 自由回答

4. サンプル数 沿線の居住者 1,000 人（沿線町丁から無作為抽出）

5. 実施時期 平成 26 年 10 月ごろ

6. 結果分析 年内に結果をまとめ、谷保ルート試行運行検討の資料とする。